

教育・心理学科 3つのポリシー

◎卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

1) 知識・理解

教育学、保育学、心理学、言語・文化等に関する専門的知識及び技能を身につけ、学校教育を内外から支える力を有する。

2) 汎用的技能

高度なコミュニケーション力や多角的視野からの分析力・判断力を有し、多様性を受容する姿勢のもと、円滑な人間関係を形成し発展させることができる。

3) 態度・志向性

高い倫理観のもと、人に誠実に接することができ、他者と協働しながらチームとして問題を解決することができる。

4) 統合的な学習経験と創造的思考力

実習や地域と連携した活動を通して磨かれた実践力を、教育の場や社会の場で活かし、柔軟な姿勢で課題に対応することができる。

◎教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

教育・心理学科は、学科共通の「基礎教育科目」と「専門教育科目」をカリキュラムの大きな柱としている。

「専門教育科目」は、「学科共通専門教育科目」および専攻・コースごとに定められた「専門教育科目」に分けられ、専攻やコースにより異なる編成でそれぞれの専門性を高め、また同時に「チーム学校」という学科コンセプトの下、教育と心理の領域を有機的に連携させ、学校教育を内外から支える人材の育成を目指した教育課程を編成する。

1) 基礎教育では、初年次教育として大学における学びの姿勢や方法を身につけるとともに、豊かな人間性と幅広い教養を涵養し、よりよく生きるための力の基盤をつくる教育課程編成とする。

2) 1年次から4年次まで少人数教育を基本に、学年を追うごとに基礎的内容から発展的内容へと学びを深めていけるように、段階的かつ体系的に教育課程を編成する。

3) 専門教育の基盤をつくとともに、幅広い領域の科目履修を通して多角的視野や統合的判断力を培うことを目的として、専門教育に「学科共通専門教育科目」を設ける。

4) 専門教育では、それぞれの専門に応じて教育、保育、心理、言語・文化科目をバランス良く配置し、学修することで、専門的知識と高度な技能を身につけることができるようにする。

5) 各専攻及びコースの専門性を充実させる一方で、教育と心理の領域を有機的に連携させ、学校教育を内外から支える知識・技術の修得ができる教育課程編成を行う。

6) 授業内外で地域と連携した体験型学習を積極的に取り入れ、知識・技能の向上はもとより、コミュニケーション能力、柔軟性、社会性、問題解決力等の向上・育成を図る。

◎入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

- 1) 人間と教育に興味・関心を持ち、学ぶ意欲のある人
- 2) 多角的な視点から物事を考え、その考えを表現する力や相手を理解しようとする姿勢を持っている人
- 3) 向上心や探求心を持ち、主体的に他者と協調して様々な活動を行う意欲のある人
- 4) 地域・社会活動に興味があり、積極的に取り組む意欲のある人